

# 第4回 JICA 海外協力隊 帰国隊員社会還元表彰 受賞者決定及び表彰式の実施について



「あなた」の  
社会還元活動が  
日本も世界も元気にする  
力となる



## 1. JICA 海外協力隊 帰国隊員社会還元表彰について


JICA では JICA 海外協力隊の事業目的の一つである「ボランティア経験の社会還元」事例を収集し好事例として紹介することで、協力隊経験者の社会還元の機運を高めると共に、より良い社会の実現を目指すため、帰国後 20 年以内の JICA 海外協力隊経験者で、国内外・公私問わず社会課題の解決に取り組んでいる方を表彰する『帰国隊員社会還元表彰』を 2023 年より開始しました。

この度、第 4 回目の受賞者 6 名が決定しましたのでお知らせします。


ご応募くださりました皆さま、ご推薦、応募勧奨いただきました皆さまには改めて御礼申し上げます。

## 2. 受賞者

### アントレプレナーシップ賞

氏名	ムスクワ 野原 隊次：2016 度 3 次隊 任国：マラウイ 職種：コミュニティ開発 現在：PENJANI Malawi 代表 出身県：長野県	
活動拠点	マラウイ	
取組名称	完全メイドインマラウイによる農民収入創出と地域経済循環モデル	
活動概要	協力隊活動中に、農家の農閑期の生計向上を目指し PENJANI Malawi を設立。帰国後現地に再渡航し、現在まで約 8 年間にわたり「マラウイ人による、マラウイ国内製造を通じた地域経済循環」を基本理念とし、現地産の伝統布（チテンジ）を活用した布小物の製作・販売を行っている。マラウイ北部ムジンバ県ムズズを中心に、地域に既に存在する素材や技術を活かし、材料調達から製造、販売までをマラウイ国内で完結。現在は約 50 世帯の農家が製作者として参加し、作業時間と難易度に合わせた報酬体系を導入。農業収入に偏らない安定的な現金収入確保にビジネスを通じて貢献している。	
関係リンク	<a href="#">PENJANI Malawi Facebook</a>	

### 地域活性化賞

氏名	高橋 文彦 隊次：2012 年度 9 次隊 任国：ウガンダ共和国 職種：動物学 現職：株式会社ウェバレッジ 代表取締役 出身県：神奈川	
活動拠点	三重県	
取組名称	過疎化が進む地域での小さな動物園の挑戦	
活動概要	「ワンヘルス」の理念のもと、人・動物・生態系が健康で適正なバランスで支え合う	

持続可能な社会を目指し、動物園の管理運営事業を中心に、自治体や学校・地元企業と連携した教育・普及活動を展開。2024年には三重県多気町で存続危機にあった動物園を地域の声を受けて改修し「ごかつら池どうぶつパーク」としてリニューアルオープン。来園者を倍増させ、2025年には県内初の日本動物園水族館協会(JAZA)加盟を実現した。2026年には JICA 海外協力隊連携派遣制度によって自社からウガンダに協力隊員を派遣予定。国内外における野生動物の保全と動物園の体制強化も推進している。

関連リンク [株式会社ウエバレッジ、ごかつら池どうぶつパーク](#)

## 多文化共生賞

氏名 越智 さや香  
隊次：2005年度0次隊  
任国：ブラジル  
職種：日系日本語学校教師  
現在：特定非営利活動法人 みらい 代表  
出身県：岐阜県



活動拠点 愛知県

取組名称 外国につながる子どもの成長・子育てを支える地域に根付いた多文化共生の実践

活動概要 ブラジルの活動で学んだ「人とのつながりの大切さ」を原点に、外国人人口の割合が高い愛知県知立市において外国につながる子どもたちの健全な育成と、保護者が安心して子育てできる環境の発展に寄与することを目的に2009年から取組を開始。2014年には特定非営利活動法人みらいへと法人化し、外国につながる児童生徒への学習支援教室や多文化子育てサロン、日本語教育体制整備支援を、地域や行政、大学等と連携しながら実施してきた。また、有識者として市の関連事業や学校運営協議会の委員等を務めるほか、愛知県や他団体が主催する説明会や研修会において事業報告等を行い、自身が現場で培った知見を発信している。

関連リンク [Npo 法人みらい | Chiryu-shi Aichi | Facebook](#)

## 多文化共生賞

氏名 川上 貴美恵  
隊次：2005 年度 0 次隊  
任国：ブラジル  
職種：日系日本語学校教師  
現在：多文化ルーム KIBOU  
コーディネーター  
(社会福祉法人せんねん村  
多文化共生教育コーディネーター)  
出身県：愛知県



活動拠点 愛知県

取組名称 愛知県西尾市にて多文化共生教育を実践

活動概要 協力隊参加後、2008 年より現在に至るまで外国につながる子どもたちを支援。現在は、立上げから関与し責任者を務める愛知県西尾市の多文化ルーム KIBOU で、子どもたちの不就学ゼロ (SDGs4) を目指しスタッフとともに活動。多様な文化的背景をもつ子どもたちの学びに必要な環境を提供すべく、地域の関係者とながり支援の幅を広げている。専門性を活かし、学会での研究発表や語彙調査の実践、愛知県のプレススクール実施マニュアル策定への参画、公的機関主催の会議や研修で事例報告や講義を担当し、地域・行政・教育機関をつなぐ実践者として高い信頼を獲得している。

関連リンク [多文化ルーム KIBOU\(外国にルーツを持つ子供の就学支援事業\) | 西尾市公式ウェブサイト](#)

## 開発協力実践賞

氏名 坪井 彩  
隊次：2017 度 3 次隊  
任国：ウガンダ共和国  
職種：コミュニティ開発)  
現職：株式会社 Sunda Technology  
Global CEO  
出身県：福井県



活動拠点 ウガンダ

取組名称 アフリカ×日本の協働による持続可能な水設備管理の実現

活動概要 協力隊活動中、ウガンダの井戸が維持管理体制の欠如により機能停止し、水アク



### 3. 大賞決定イベント・表彰式

受賞者より受賞報告として取り組み内容を発表していただき、その結果を踏まえて「大賞」を選定・発表予定です。表彰式開催に関する詳細情報は今後、JICA 海外協力隊 HP にて公開予定です。

【日 程】 2026年 6月 8日 (月)

【時 間】 大賞決定イベント・表彰式 13時～15時 20分 (予定)

【実践方法】 対面・オンライン (後日オンラインリンク掲載予定)

【後 援】 一般社団法人日本経済団体連合会、全国地方新聞社連合会、公益社団法人経済同友会、公益社団法人日本青年会議所、日本商工会議所



全国地方新聞社連合会

Keidanren  
Policy & Action



日本商工会議所  
The Japan Chamber of Commerce and Industry



公益社団法人 日本青年会議所

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 青年海外協力隊事務局 社会還元促進課 社会還元表彰担当

E-mail: [jvtpc\\_sinrosien6@jica.go.jp](mailto:jvtpc_sinrosien6@jica.go.jp)